



子どもが描いた絵(下)と、親子の作品(上)



1本1本心をこめて作業



講習会のようす



熱心に聞く受講者

那岐の芸術祭 旧那岐小学校

旧那岐小学校を舞台に、もりのようちえん「まるたんぼう」が企画した芸術祭が行われました。まるたんぼうの子どもたちが、普段見たり感じたりしている世界を森の材料で表現した作品や、那岐地区の様子がまとめられた映像作品などがありました。

子どもたちの純粋な目で見た森の世界が、現実の世界に引き出され、惹きつけられました。

桜を守る 12月1日(土) 桜土手

国道373号線沿いの桜180本を守るため、観光協会が主体となって桜の木の手入れと作業を行いました。雪あこしが鳴り、みぞれが降る中、約30人のボランティアが手の届く範囲で、2時間半にわたり、一生懸命作業を行いました。桜の腐食を防ぐために行う苔落としには、たくさんの時間と人手が必要です。

桜土手を守るために皆さんもボランティアしませんか？

百業ものがたり講座 11月16日(金) 総合センター

寺谷壮一さんと寺谷恒雄さん、白岩道雄さんを講師に迎え、しめ飾り講座を行いました。

しめ飾りづくりの経験がある人もない人も、講師の作り方を食い入るようにつめ、1年に1度の作業に一生懸命取り組みました。

「ものづくりは楽しい。作業しているうちに、作り方を思い出す。『伝統技術』は伝えていかなければいけない」などの感想があり、こういった伝承がとても大切なことと感ぜられる講座でした。

智頭百業マーケティング講座 11月15日(木) 総合案内所

㈱日本経済研究所の佐藤淳さんを迎え、地域資源を活用する講座を開催しました。

「これから『どうするか』ではなく『何を作るか』がマーケティングには大切です」と話を切り出し、『何を作るか』を明確にした西粟倉村の市場開拓成功例を紹介しました。地域資源・人材資源豊富な智頭町には、チャンスがすぐそこに来ているのかもしれない。



山郷の杉太鼓



大迫力の校歌斉唱



丁寧に補修する参加者



優勝した藤森さん

次に、智頭町についての学習発表では、保護者から「へえ、知らなかった」などの声が上がりました。初めて知ることや、改めて気づかされたことがたくさんあった内容でした。また、劇では大人数であることを活かした演出で、舞台上を児童達が所狭しと駆け回って演技しました。

6年生の発表では、山郷の杉太鼓や山形のトラペットなど各地区で受け継がれてきたものが融合し、児童だけではなく、文化の継承もきちんと行われているように感じました。

超満員の発表会 12月2日(日) 智頭小学校

全校児童282人による学習発表会が、超満員の中、開催されました。小さなお子さん連れの人のために、図書室が開放され、モニターで発表会を見ることができ、また、会場の体育館も暖かくて、細やかな気配りがされていました。

まず、オープニングを飾った全校児童による校歌斉唱は、作曲者の菊池ひみこさんによる伴奏で、見る者を圧倒するような大迫力となりました。

町道補修ボランティア 11月23日(金) 天木集落

天木集落内の町道にあった無数の亀裂を溶剤で埋めるため、町が材料を支給し、天木集落のボランティア8人に、作業をしてもらいました。

当日は雨にもかかわらず、半日間作業を行いました。これにより、冬季に流れ出す消雪用の水で道路を破損する心配がなくなりました。みなさんご協力ありがとうございました。

旨い米ナンバーワン決定! 11月17日(土)

智頭農林業いきいき交流まつりの中で、智頭米コンテストの決勝戦を開催しました。予選会に出品された71検体のうち、上位6名の米を審査員が食べ比べて順位を決定しました。

上位入賞された皆さん、おめでとうございます。

優勝	藤森英之(口字波)
2位	森下順平(慶所)
3位	大谷訓大(五月田)
4位	岡野吉勝(早野)
5位	草刈章博(石田)
6位	藤原清実(新見)

敬称略